西脇市立西脇病院改革プラン評価

令和４年10月

Ⅰ　項目別推進状況に係る評価（令和３年度実績）

【委員評価】◎：際立った成果　○：概ね計画どおり　△：要努力

事　項	取組項目	委員１	委員２	委員３	委員４	委員５	委員６	自己評価
１ 基本事項	⑴　今後果たすべき役割	◎	◎	○	◎	○	○	A
	⑵　一般会計繰出金	◎	◎	○	◎	○	○	A
	⑶　病院と地域との連携	◎	◎	◎	◎	◎	○	A
２ 医療の質の向上	⑴　がん治療の医療体制の構築	○	◎	△	○	○	○	B
	⑵　脳卒中の病病連携体制の構築	△	△	△	○	○	○	C
	⑶　幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築	○	○	△	○	○	○	B
	⑷　資格等取得による人材育成	△	○	△	△	○	△	C
３ 経営資源の強化	⑴　入院収益の確保	○	○	△	○	○	○	B
	⑵　外来収益の確保	◎	◎	○	◎	◎	○	A
	⑶　その他収益の確保	○	○	△	○	◎	△	B
	⑷　医療技術部門の取組	○	◎	△	○	○	○	B
	⑸　地域連携への取組	◎	◎	△	○	◎	○	B
	⑹　その他の取組	◎	◎	○	○	○	○	A
４ 職員の確保と意欲の向上	⑴　医師確保	○	○	○	◎	○	○	B
	⑵　看護師確保	○	○	△	○	○	○	B
	⑶　職員の意欲向上	◎	◎	○	◎	○	○	A
５　再編・ネットワーク化	⑴　再編・ネットワーク化	◎	◎	○	◎	◎	○	A

【自己評価】　Ａ：実績＞目標　Ｂ：目標＞実績＞前年　Ｃ：目標・前年＞実績

Ⅱ　評価等のコメント

委員１	コロナ禍でありながら、健全な病院経営に努力し、成果をあげている。
委員２	・コロナウイルス感染症患者の対応をしつつ、実稼働病床分についてほぼ計画通りの病床稼働率を達成されていること、また、検診、検査等の計画達成度が高いことは高く評価できます。 ・財務状況はコロナ対策補助金によって黒字となっており、補助金が無くなり病床をフル稼働できるようになったときに、元通りの利益を確保できるかが課題です。コロナウイルス感染症患者の受入れに伴うコスト増によって費用が増加しており、現状のコスト構造では、元通りの稼働率を達成しても利益を確保することは厳しいと思われます。コロナ感染症患者が減少した場合にどの程度コストが下がるのか、また収益面については、診療科別の患者数。診療単価の動向をふまえ損益に関する見通しについて見積もり評価を行っておく必要があると思います。 ・本病院の特徴である成人病治療（がん治療等）・緩和ケアと、地域（在宅）医療との効果的な連携は、市民（患者）の生活の質を高めるうえで重要です。効果を高めるためには、市がイニシアチブを発揮するなど、病院と医師会、在宅医療関連の地域協議会とのネットワークの強化が重要だと思います（行政や医師会、在宅医療関連の協議会との連携に言及されていなかったのが気になりました）。
委員３	補助金による黒字、丹波医療センターによる脳外入院患者の減少など、今後の収益確保に対する戦略が必要と考えます。
委員４	新型コロナ陽性患者の受入れについて、大きなリスクを伴う中、取り組まれていることは素晴らしいと思う。市民としても、近くに受入れ病院があるのは安心だし、地域に根ざした病院であると、高く評価させていただきたいです。 　また、医師不足の中、医師の確保、研修医の受入れには、安定した結果を出されていて、とても嬉しいですし、際立っている成果だと思います。
委員６	基本計画の一部見直しをされているようですので、当該事業の今後の見通しと、必要な人材の確保、設備投資の有無など、今後の計画に反映していただければと思います。 　令和３年度実績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、補助金も含めてですが、収益を確保し、また、職員満足度アンケートにおいて、コロナ禍以前と変わらない点数が出ており、医療の質とともに、職場環境への配慮もされている結果だと思います。